



直圧式ブラストタンク

BP-600 型

取扱説明書

関 東 ア ス コ ン

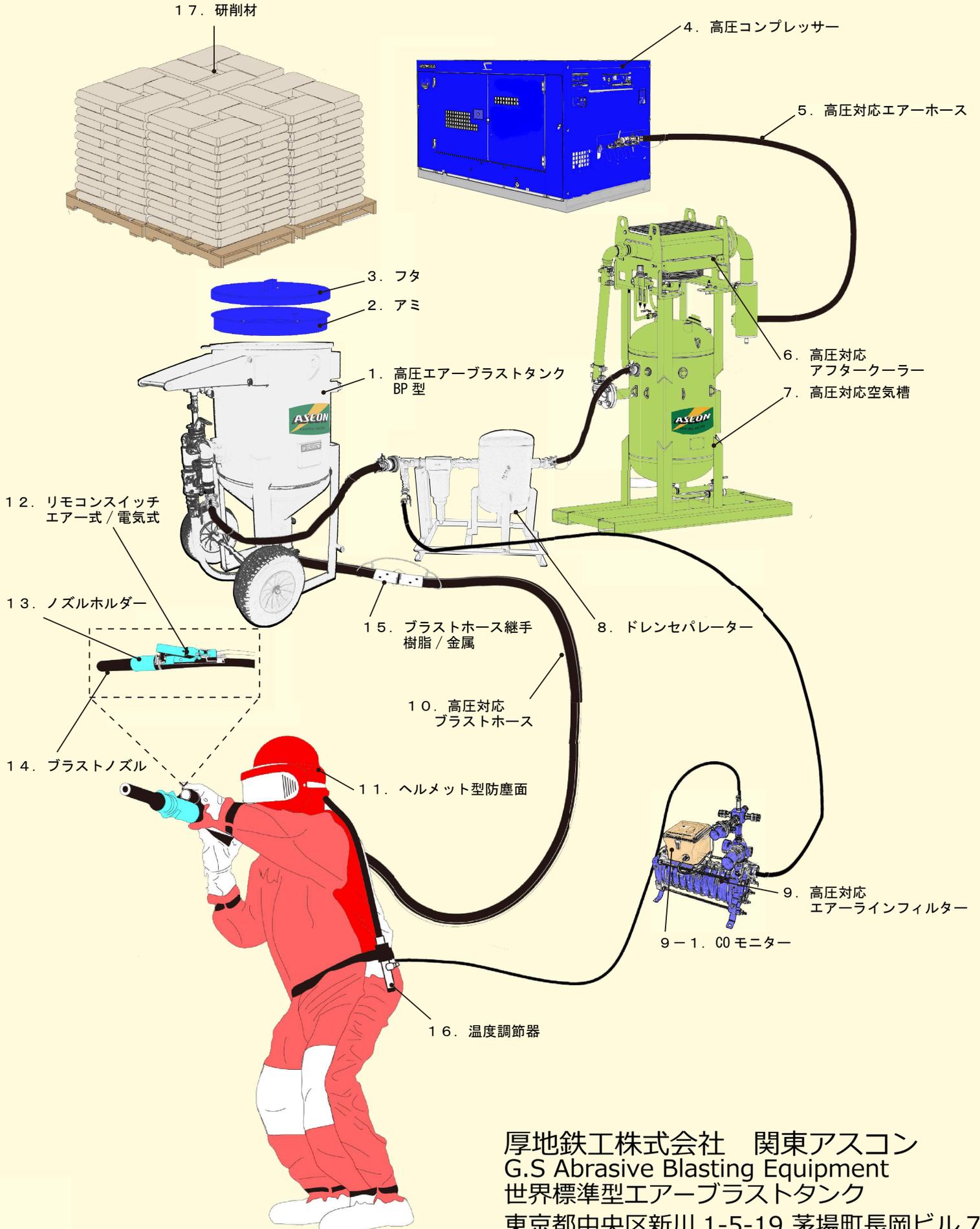
東京都中央区新川1-5-19 茅場町長岡ビル 7F

TEL:03-3537-6818

FAX:03-3537-6828

E-mail: highblast@ascon-blast.co.jp

世界標準型高圧エアースラスト 機器類一覧



厚地鉄工株式会社 関東アスコン
G.S Abrasive Blasting Equipment
世界標準型エアースラストタンク
東京都中央区新川 1-5-19 茅場町長岡ビル 7F
電話 : 03-3537-6818
e-mail : highblast@ascon-blast.co.jp

目次

- I. 予備知識 - ご購入時にお読みください
世界標準型高圧エアースラスト 機器一覧
- II. 準備 - ご使用前にお読みください
- III. 使用方法について
- IV. メンテナンスについて
- V. トラブルシューティングガイド
BP-600 型 構成内容および分解図
- VII. 直圧タンク製造計算図（お求めの場合）

シリアルナンバー

I. 予備知識 - ご購入時にお読みください

！注意！

ブラストタンクの移動は、フォークリフトやクレーンなどをご使用ください。その際、タンクの吊環を利用し、吊って移動させてください。

下記はお客様の責任事項となります。

i) 付属品の決定、研削材の決定はお客様に合わせたものを、お客様のご判断でお選びください。

(弊社へご相談いただきますと幸いです。)

ii) お客様の作業環境に関する法律、規則、安全作業練習

iii) 作業者のトレーニング、安全衛生環境の提供（安全靴、保護眼鏡、耳栓、防塵面など作業者の保護環境含む）

1. 共通事項

1.1. 日本国内にてご使用の場合、付属品ご購入や修理点検のご依頼は弊社をお勧めいたします。

※国際規格適用のため、部品などは海外規格製造物と互換性があります。お求めの場合ご購入店や代理店等にお問い合わせください。

1.2. 危険性について

重金属塗装・アスベスト・そのほか有毒性のあるダストは、重大な肺病や死に至る原因となります。

安全のためには正しい保護具やエア供給器具・装置をご利用ください。

1.3. エア配管の設備

コンプレッサーからブラストタンクへ十分な量のエアを供給することができる配管をしてください。

2. 安全対策・危険予防について

2.1. 防塵面・保護眼鏡・耳栓・安全靴など保護具の装着

作業エリアにいるすべての方は、保護眼鏡・耳栓・安全靴などを装着してください。ブラスト作業における様々な危険にさらされる可能性があるためです。

2.2. エア呼吸機器関係の準備

作業者へのエア供給は、ダストや粉塵などの吸い込みを防ぐために必須です。法規制など適したものを準備してください。

2.3. 電気機器に対する防備

必要に応じ漏電対策をおこなってください。

※BP-600 型標準仕様はオールエア方式のため、電源は不要です。電気仕様等の場合、漏電対策などが必要です。

2.4. 安全機器の保全

ブラストタンクに装着してあるセーフティロックなどは、お客様による改造はなさないでください。

2.5. メンテナンス方法について

メンテナンスや修理・点検などをおこなう際、ブラストタンクには電源やコンプレッサーを接続しないでください。

2.6. 移動・設置時の注意

ブラストタンクを移動・設置する際、必ず事前に研削材を空の状態にしてください。ブラストホース、リモコンホースなどの付属品を外した後、移動させてください。

移動にはフォークリフトやクレーンなどで、吊環より吊って運んでください。重量があるため、安全には十分配慮して作業を行ってください。

2.7. 改造に関して

弊社より出荷した製品以外をお客様により改造した際に対する責任を負いません。対象外となりますので、お客様のご判断で実施してください。

2.8. 使用研削材に関する安全性のチェック

研削材の製品安全データシートを確認してください。特に有毒性がないかの確認は入念に行ってください。

2.9. ブラスト作業に関する安全性の確認

ブラスト作業がすべての人に対して害がないか、前もって確認してください。

2.10. 点検の実施

作業者は毎日、保護具などが正常かチェックしてください。不良などを発見した場合、交換してください。

また、ホース、継手、ホルダーなどがすべて正常で正しく装着されているかチェックしてください。

※OSHA 規格 1915 : 34 (c) (1) (iv) デッドマンコントロール

デッドマンコントロールデバイス（デッドマンスイッチ）とは、作業者の意思に係わらず装置側で動作を停止させる仕組みです。

作業者がブラスト作業（ホースの操作）を損ねる、また心臓麻痺や脳血管疾患などにより突然意識を失ったとき、デッドマンスイッチはブラストタンクを直接停止させ、不慮の事故を防ぎます。

2.11. 保管時注意事項

ブラストタンクを使用しないとき等、保管時はフタをしてください。

雨水や塵などが中に入らないようにしてください。

フタは標準付属品に含まれておりません。別途ご購入・ご用意ください。

なお、この取扱説明書はホームページからダウンロード可能です。

3.1. 予備知識

ブラストタンクについて

BP-600 型は第 2 種圧力容器です。

法規上、自主点検の義務があります。また、安全管理は所有者が行うことになっています。

労働安全衛生法施行令

(定義) 第一条 第 7 号 第二種圧力容器

ゲージ圧力 0.2 メガパスカル以上の気体をその内部に保有する容器（第一種圧力容器を除く）のうち、次に掲げる容器をいう。

イ 内容積が 0.04 立方メートル以上の容器

ロ 胴の内径が二百ミリメートル以上で、かつその長さが千ミリメートル以上の容器

(厚生労働大臣が定める規格又は安全装置を具備すべき機械等)

第十三条

法別表第二第二号の政令で定める圧力容器は、第二種圧力容器（船舶安全法の適用を受ける船舶に用いられるもの及び電気事業法、高圧ガス保安法又はガス事業法の適用を除く。）とする。

(個別検定を受けるべき機械等) 第十四条

法第四十四条第一項の政令で定める機械等は、次に掲げる機械等（本邦の地域内で使用されないことが明らかな場合を除く。）とする。

二 第二種圧力容器（船舶安全法の適用を受ける船舶に用いられるもの及び電気事業法、高圧ガス保安法又はガス事業法の適用を受けるものを除く。）

法別表第二第二号（第四十二条関係）

二 第二種圧力容器（第一種圧力容器以外の圧力容器であつて政令で定めるものをいう。）

労働安全衛生法 第五章 機械など並びに危険物及び有害物に関する規制

(譲渡などの制限等) 第四十二条

特定機械等以外の機械等で、別表第二に掲げるものその他危険若しくは有害な作業を必要とするもの、危険な場所において使用するもの又は危険若しくは健康障害を防止するため使用するものうち、政令で定めるものは、厚生労働大臣が定める規格又は安全装置を具備しなければ、譲渡し、貸与し、又は設置してはならない。

ボイラー及び圧力容器安全規則 第四章 第二種圧力容器

(検定) 第八十四条

第二種圧力容器を製造し、又は輸入した者は、当該第二種圧力容器について法第四十四条第一項の検定を受けなければならない。

2 外国において第二種圧力容器を製造した者は、当該第二種圧力容器について法第四十四条第二項の検定を受けることができる。当該検定が行われた場合においては、当該第二種圧力容器を輸入した者については、前項の規定は、適用しない。

3 前二項の検定については、機械等検定規則（昭和四十七年労働省令第四十五号）の定めるところによる。

(安全弁の調整) 第八十六条

事業者は、第二種圧力容器の安全弁については、最高使用圧力以下で作動するように調整しなければならない。ただし、安全弁が二個以上ある場合において、一個の安全弁を最高使用圧力以下で作動するように調整したときは、他の安全弁を最高使用圧力の三パーセント増以下で作動するように調整することができる。

(圧力計の防護) 第八十七条

事業者は、圧力計については、その内部が凍結し、又は八十度以上の温度にならない措置を講じなければならない。

2 事業者は、圧力計の目もりには、当該第二種圧力容器の最高使用圧力を示す位置に、見やすい表示をしなければならない。

(定期自主検査) 第八十八条

事業者は、第二種圧力容器について、その使用を開始した後、一年以内ごとに一回、定期に、次の事項について自主検査を行なわなければならない。ただし、一年をこえる期間使用しない第二種圧力容器の当該使用しない期間においては、この限りでない。

- 一 本体の損傷の有無
- 二 ふたの締付けボルトの摩耗の有無
- 三 管及び弁の損傷の有無

2 事業者は、前項ただし書の第二種圧力容器については、その使用を再び開始する際に、同項各号に掲げる事項について自主検査を行なわなければならない。

3 事業者は、前二項の自主検査を行なったときは、その結果を記録し、これを三年間保存しなければならない。

(補修等) 第八十九条

事業者は、前条第一項又は第二項の自主検査を行なった場合において、異常を認めるときは、補修その他の必要な措置を講じなければならない。

Ⅱ 準備

—ご使用前にお読みください。

2. セットアップ

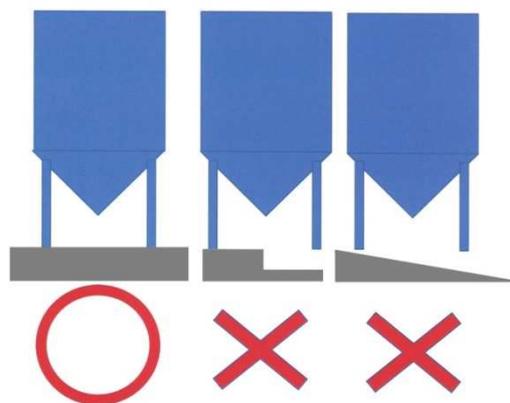
！注意！

ブラストタンクの移動は、フォークリフトやクレーンなどをご使用ください。その際タンクの吊環を利用し、吊って移動させてください。

ブラストタンクの移動、向きの調整、メンテナンス時等の際、必ずブラストタンク内の研削材はすべて抜き、空の状態にしてください。

2.1. ブラストタンクの設置について

ブラストタンクは平らな場所に設置してください。傾きや凹凸のある場所の場合、ブラストタンクの転倒等の恐れがあり、大変危険です。



2.2. 御使用時・移動時について

ブラストタンクは重量があります。ご使用中の際や移動時も、転倒などにご注意ください。

体が挟まれる・手指足などが挟まれるなど、大変危険です。



！注意！

ブラストタンクの移動は、フォークリフトやクレーンなどをご使用ください。その際タンクの吊環を利用し、吊って移動させてください。



吊環

※取っ手は向きを修正するために使用するためのものです。その際、必ず二人以上で安全に十分配慮をしたうえで作業を行ってください

2.3. 整備作業時

ブラストタンク BP-600 型は、バルブの整備交換を行う際、横に倒して実施することができます。取っ手側を下に、保護するマットやパレットなどで傷をつけないよう作業を行ってください。また、横に倒す際/起こす際、転倒や思いがけない傾きにご注意ください。



！注意！

作業実施前に、必ずブラストタンク内の研削材はすべて抜き、空の状態にしてください。

転倒や傾きなど、大変危険です。

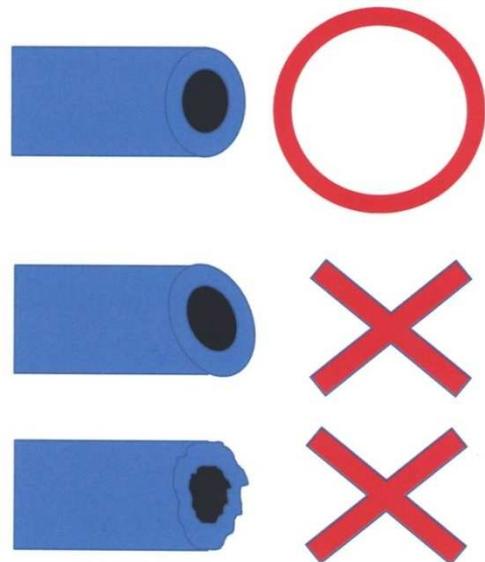


※取っ手は向きを修正するために使用するためのものです。その際、必ず二人以上で安全に十分配慮をしたうえで作業を行ってください

2.4. 継手・ノズルホルダーの取付

ブラストホースにブラストホース継手とノズルホルダーを取り付けてください。

必ず継手・ノズルホルダーに接する面に隙間ができないようにしてください。



取り付ける際、時計回しに力を込めてねじ込んでください。
緩い場合、隙間が生じて摩耗の原因になり、危険です。



その後、継手・ホルダーをセットビスで固定してください。

！注意！

正しく取り付けられていない場合、
継手・ホルダーが加圧エアにより弾
け飛ぶ場合があります。ご注意ください。



2.5. ブラストホースの接続

ブラストホースの継手側を、ブラストタンク下部にあるサンドバルブ（標準仕様の場合：トンプソン型バルブ）についているブラストホース継手（標準仕様の場合：STC-2）に取り付けてください。取付方法は爪同士がかみ合うよう、互い違いに押し込み、時計回りに回せば接続します。

さらに、クイックピンで双方の継手が回って外れないよう固定してください。

取付後、ブラストホースは巻いた状態にせず、伸ばしてください。



2.6. ブラストホースの接続（延長の場合）

ブラストホースを延長する場合、継手の爪状部分と固定部分を合わせた後時計回りに回すと接続します。



2.7. リモコンホースの取付

リモコンホースの継手をブラストタンクにある継手部分に接続してください。
(オス・メスがありますので確認して接続してください)



2.8. リモコンスイッチの取付位置調整

リモコンホースの先端がノズルホルダーの手前あたりに来るようホースの位置を調整してください。通常、リモコンスイッチおよびノズルホルダーの位置が、作業者の持つところになります。持ちやすいように位置を調整してください。

※ブラストホースとリモコンホースはホースバンドやテープなどで数か所束ねると、ブラスト作業の邪魔になりません。



2.9. リモコンスイッチの取付

リモコンホースの先端にリモコンスイッチを結束バンド等で取り付けてください。



2. 10. コンプレッサーへの接続

まずコンプレッサー側のバルブ、およびブラストタンクのエア供給バルブがクローズ（全閉）の状態にしてください。次に、ブラストタンクにエアホース（コンプレッサーからエアを供給するためのホース）を接続してください。
※エアホースは、ブラストホースより内径が大きいものを推奨します。

！重要！

ドレンセパレーターやフィルター、アフタークーラーなどを通じたエアを供給してください。

ドレン・塵・ゴミなどはブラスト方法に悪影響を及ぼします。また、ブラストタンクや部品などの損耗の原因になります。

2. 11. ノズルの取付

ノズルとノズルホルダーの間に隙間ができないよう隙間をふさぐホルダーパッキンが正しく入っているか、確認してください。

シーリングの役目を果たすホルダーパッキンには向きがあります。天地を逆にしたまま装着すると損耗が早まりますので、正しく取り付けてください。幅の広い側がノズル側、幅の狭い側がブラストホース接地側です。

その後、ノズルをノズルホルダーに取り付けてください。時計回りに奥までしっかりとねじ込んでください。



2.12. 保管時

！重要！

ブラストタンクを使用しないとき、
雨水・塵などが中に入らないようフ
タをしてください。

※標準付属品にフタは含まれてお
りません。

別途オプションにてご購入いただ
くか、お客様でご用意ください。



Ⅲ 使用方法について

3. 使用手順（ブラストの開始）

3.1.1. エア加減バルブを全閉にする

エア加減バルブを全閉にしてください。

※右図は全開時です。全閉の時、レバーは90° 手前側になります。



3.1.2. ブラストバルブを全閉にする

ブラストバルブ(BP-600 型標準仕様の場合：トンプソン型バルブ) のコントロールノブを全閉にしてください。時計方向に回すと流量が閉じる方向へむかいます。

！重要！

リモコンスイッチをOnにしたままコントロールノブを回転させないでください。

損耗・破損の原因になります。

研削材流量の調整は、必ずブラストをOffにした状態で行ってください。



コントロールノブを目盛の数値が見えなくなり、回らなくなるまで回してください。

目盛は白黒帯で表示
(全閉の場合、図のように見えなくなります。)

3.1.3. 研削材の投入

ブラストタンク上にあるポップアップバルブは、加圧していない段階では全開しています。こちらから研削材を投入してください。

スクリーン（別途オプション）が付いている場合、ある程度のゴミなどをブラストタンク内へ侵入することを防ぐことができます。

！重要！

※過度に研削材を投入しないでください。ポップアップバルブを痛める原因になります。また、あふれた研削材がポップアップバルブの動作を阻害し、加圧できずブラスト作業ができない原因になります。

ポップアップバルブ



ポップアップバルブ（拡大図）



※上記は全開（加圧していない）状態です。

3.1.4. 継手・ホルダーの確認

全ての継手やホルダーが正しく取り付けられ、接続できているか確認してください。

継手はクイックピンで固定し、回して外れないことを確認してください。

※準備段階でご確認していても、もう一度チェックしてください。



3.1.5. コンプレッサーの始動

コンプレッサーを始動し、必要エア量を確保してください。そのうえでコンプレッサー側のバルブを開けてください。

！注意！

最大圧力を超えるエア供給は厳禁です。



3.1.6. ブラストタンクへエアを供給

エア供給バルブをゆっくり開けてください。

この時、ブラストタンク周辺やエアホース周辺、リモコンホース周辺などで不自然なエア漏れが発生していないか確認してください。特に継手周辺をご確認ください。

この時、加圧に伴いポップアップバルブが閉じます。

※0.3MPa 以下の場合ポップアップバルブが動作しません。

！注意！

※BP-600 型は圧力保持型ブラストタンクです。エア供給バルブを開放した後、ブラストタンク内は加圧エアが充填されています。



BP-600 型に付属している標準のブラストバルブは、トンプソン型バルブです。トンプソン型バルブはスイッチ ON で開放されますが、スイッチ OFF 時（停止時）は閉止しています。

そのため、リモコンホースが外れる/破損しリモコンが動作しない状況下でも、トンプソンバルブは閉止状態のため、不測の噴射がありません。

3.1.7. ブラストホース・ノズルの保持

作業者はブラストホースの先端部分を持ち、ノズルをワーク対象へ向けてください。

持つ場所はノズルホルダー・リモコンスイッチのあたりが適当です。リモコンスイッチ等が引っ掛かる等しないよう注意してください。

万が一引っかかる、作業しづらいなどございましたら、リモコンスイッチの位置をずらし、作業しやすい位置へ留め直してください。

！注意！

決してノズルの内側をのぞきこまないでください。

また、他者へ向けないでください。



3.1.8. ブラスト作業の開始

i) リモコンスイッチ（P&Gタイプ）の場合

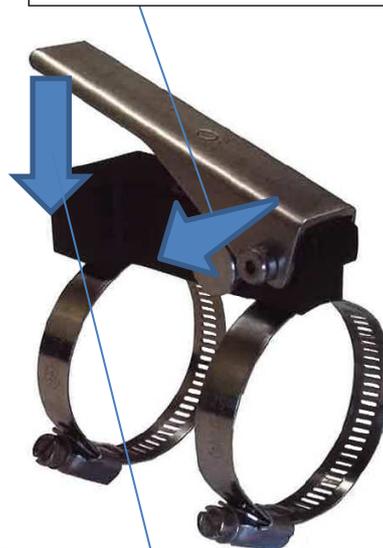
セーフティロックは、本体ハンドル軸部分にあります。

（バネ式のため、指を離すとロック状態に戻ります。）

ロックを解除し、ハンドルを奥まで握ることができます。

奥まで握るとスイッチ ON となります。

①セーフティロックを右へ押し込むとロック解除です。



②レバーを握ると、ブラスト ON です。

ii) ボールロック式リモコンスイッチの場合

リモコンスイッチのスイッチ部にボールを差し込む、もしくはスイッチ部を指（等）で押し込むとスイッチ ON になります。

※ボールロック式リモコンスイッチについて

ボールロック式リモコンスイッチは、ボールについているストラップを腕に巻いた上で使用します。その際、ボールをスイッチ部に差し込んでスイッチ ON となります。

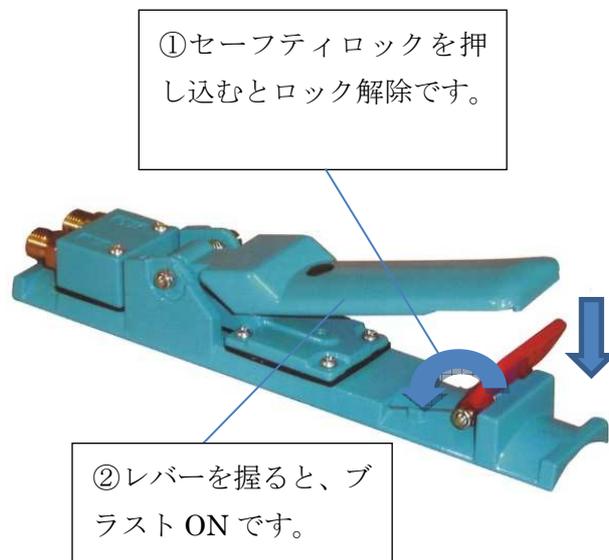
万が一作業者の手からホースが離れた場合、腕のストラップについたボールが外れ、自動的にスイッチが OFF になります。

これはデッドマンスイッチの構造です。



※図は ON の状態です。ボールにより、ON を維持します。

iii) リモコンスイッチ（ブルー）の場合
バネ仕掛けの赤いレバー部分がセーフ
ティロックです。この赤いレバー部を押
し込みながらスイッチを奥まで握るこ
とで、スイッチ ON になります。
※リモコンスイッチ（ブルー）について
赤いレバー部は、手を離すとバネ仕掛け
でもとに戻ります。元に戻るとスイッチ
を奥まで握ることができず、スイッチ
OFF が保持されます。
これはデッドマンスイッチの構造です。



3.1.9. ブラストバルブの調整

(研削材の流量を調整する)

※二人で作業してください。

一人が3.1.9. ブラストホース・ノズルの保持を行い、一人がブラストバルブ (BP-600 型標準の場合：トンプソン型バルブ) の流量調整をしてください。全閉状態にあるブラストバルブのコントロールノブをゆっくりと開けてください。

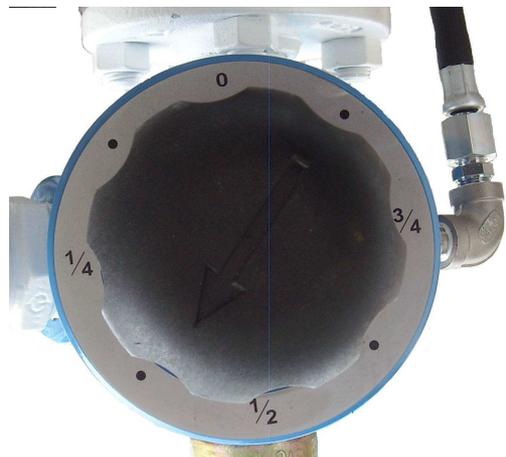
反時計方向へ回すと、流量が開く方向へむかいます。

噴出する研削材と加圧エアの混合状態を適切になるまで開閉して調整してください。

※適切な状態とは、研削材がノズルより噴出す状態が霧状に近い時を指します。

※なお、コントロールノブの軸部分に回転数を測る目盛があります。

また、トンプソン型バルブの場合バルブトップ部分に一回転中のバルブ回転度合いを測る目盛があります。



！注意！

リモコンスイッチを On にしたままコントロールノブを回転させないでください。

損耗・破損の原因になります。
研削材流量の調整は、必ずブラストを Off にした状態で行ってください。



3.1.10. ブラスト終了

リモコンスイッチから手を離し、OFFにしてください。

(ボールロック式リモコンの場合に限り、ボールを外してスイッチをOFFにしてください)

！重要！

BP-600 型は圧力保持タイプのため、減圧するまでブラストタンク内は加圧された状態を維持しています。ブラスト作業により減少し、タンク内圧力が 0.3MPa を下回った場合、ポップアップバルブが解放され減圧されます。

3.2. 作業終了手順（ブラスト終了）

3.2.1. エア供給バルブを閉める

ブラストタンクのエア供給バルブをゆっくり全閉にしてください。

3.2.2. 排気バルブを開ける

ブラストタンクの排気バルブをゆっくり開けてください。

マフラーを通じてブラストタンク内のエアが解放されます。

3.2.3. コンプレッサーの停止

コンプレッサーを停止、あるいはコンプレッサー側のバルブを全閉にしてください。

3.2.4. ブラストタンクの収納

フタ（別途オプション）をするなど雨水や塵、ゴミがブラストタンク内に入らないようにしてください。

ブラストホースを束ねて収納してください。

この際、ブラストノズルやノズルホルダー、継手に衝撃を与えないようにご注意ください。

衝撃は各種部品を痛め、損耗の原因になります。

！重要！

BP-600 型は、第二種圧力容器となっており、法規上安全管理は所有者が行うことになっています。
また、自主点検の義務があります。



IV メンテナンスについて

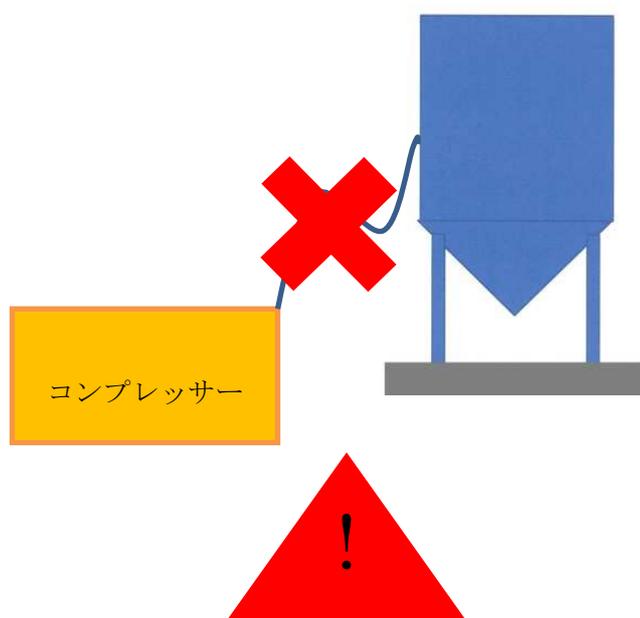
！注意！

メンテナンス時、ブラストタンクからエアホースを外し、圧縮空気を入れない状態で作業をおこなってください。

エアホースを接続し、コンプレッサーが始動している状態でメンテナンスを行った場合、時として作業員へ深刻なダメージを与える可能性があります。

（時に死亡事故が発生するケースがあります。）

なお、ブラストタンク BP-600 型のタンク胴体部分に付属するパーツは、交換を簡易にするためセット単位でご提供しています。予備部品を準備していただくことを推奨します。



4.1. 日次点検

4.1.1. リモコンエアフィルターのチェック・水抜き

フィルターの下部にケースアッセンブリがあり、さらにその下部にドレン抜きバルブが付いています。これを開放し、ドレン抜きを実施してください。

ケースアッセンブリは反時計回りに回すと開き、中にフィルターエレメントが入っています。

このフィルターエレメントをチェックしてください。汚れがひどい場合など、適宜交換してください。

チェック（場合により交換）後、ケースアッセンブリは時計回りに回すと再度装着できます。

4.1.2. ブラストホースのチェック

ブラストホースが摩耗・損耗していないかチェックしてください。

チェック方法一例：外側より触れた時、通常より柔らかい感触だった場合、ブラストホースを交換してください。

（摩耗によりブラストホース内面がすり減っているため。この状態は大変危険です）

4.1.3. ガスケット、ホルダーパッキンのチェック

ブラストホース継手のクイックピンのチェック終了後、一旦クイックピンを外してください。次にブラストホース継手の接続を外し、中のガスケットがゆがんでいないか、摩耗・損耗していないか確認してください。ブラストホース継手は、反時計回しに回すと接続が外れます。また一旦ノズルを反時計方向に回してノズルホルダーから外してください。そして中のホルダーパッキンがゆがんでいないか、ずれていないか、摩耗・破損していないか確認してください。

4.1.4. ブラストホース継手およびノズルホルダーのチェック

ブラストホース継手、ノズルホルダー等研削材の通過するジョイント部分が摩耗・損耗、ひび割れなどしていないかチェックしてください。

ブラストホース継手はクイックピンが外れていないかチェックしてください。外れていた場合、正しく装着してください。

また、継手やホルダーがぐらつくことが無いか、チェックしてください。ぐらつく場合、セットビスが抜けていたり、継手やホルダーの摩耗が原因の場合があります。速やかに交換してください。

4.1.5. リモコンスイッチ・リモコンホースのチェック

各種リモコンキーのセーフティロックが正しく動作するかチェックしてください。

また、リモコンホースが損耗していないか、リモコンホース継手が外れていないか・破損していないかチェックしてください。

4.2. 週次点検（一週間毎に点検してください。）

4.2.1. ノズルのチェック

一旦ノズルをノズルホルダーから取り外してください。反時計方向に回すと外れます。次にノズルの内側が（偏）摩耗・損耗していないかチェックしてください。

超硬質のノズルですが、落とした衝撃で割れる場合があります。ひびなどがあつた場合、交換してください。摩耗については、ご購入時よりφ1.5mm以上内径が広がっていた場合、交換してください。この場合、内径とはもっとも小さい内径部分を指します。ベンチュリー構造の場合、ノズル内側中央部よりホース側のあたりです。

4.2.2. ノズルホルダーのチェック

ノズルをノズルホルダーから取り外した後、ノズルホルダーが摩耗・損耗していないかチェックしてください。ひび割れも損耗の兆候です。摩耗・損耗していたら交換してください。

4.3. 月次点検（月毎にチェックしてください）

4.3.1. ポップアップバルブのチェック

ブラストタンク上部中央にあるポップアップバルブおよび加圧時シーリングの役目を果たすOリングが摩耗・損耗していないかチェックしてください。

チェック方法

- i) ブラストタンク 胴体横中央にある点検口のフタを取り外し、内部のパイプを工具などで取り外してください。垂直上方向にあるパイプの先に、ポップアップバルブが取り付けられています。
- ii) Oリングは、ブラストタンク胴体部に装着されています。Oリングはドライバーなどで取り外してください。
- iii) ポップアップバルブの交換方法
ポップアップバルブが痛んでいる場合、点検孔を取り外し、タンク側面よりポップアップバルブを取り外し、交換してください。



ポップアップバルブ（拡大図）



Oリング



点検孔

4.3.2. マフラーおよび排気配管のチェック
マフラーおよび排気配管系統が摩耗・損
耗していないかチェックしてください。
摩耗・損耗していた場合、交換してくだ
さい。



マフラー

4.3.3. ブラストバルブのチェック

タンク下部にあるブラストバルブ（BP-600 型標準仕様の場合：トンプソン型バルブ）が摩耗・損耗していないかチェックしてください。摩耗・損耗があった場合、交換してください。

！重要！

トンプソン型バルブは、複雑な構造のため、内部パーツの交換には繊細な作業が必要となります。損耗の場合、バルブごと交換していただくことをお勧めいたします。

チェック方法

- i) ブラストタンクをフォークリフトやクレーンなどで吊り、ゆっくり手前側に倒してください。その際、体を挟めないようご注意ください。必ず二人以上で作業を行い、安全に十分配慮してください。
- ii) 次に、トンプソン型バルブの下部にあるベースを外してください。これは六角ボルトで固定されています。その後、各パーツを外して其々確認してください。
- iii) 中のパーツが摩耗していた場合、パーツキットセット（別途消耗品としてご購入ください）から交換してください。



！注意！

このボルトは3/8インチです。インチ規格の工具をご使用ください。



トンプソン型バルブ用パーツキットセット

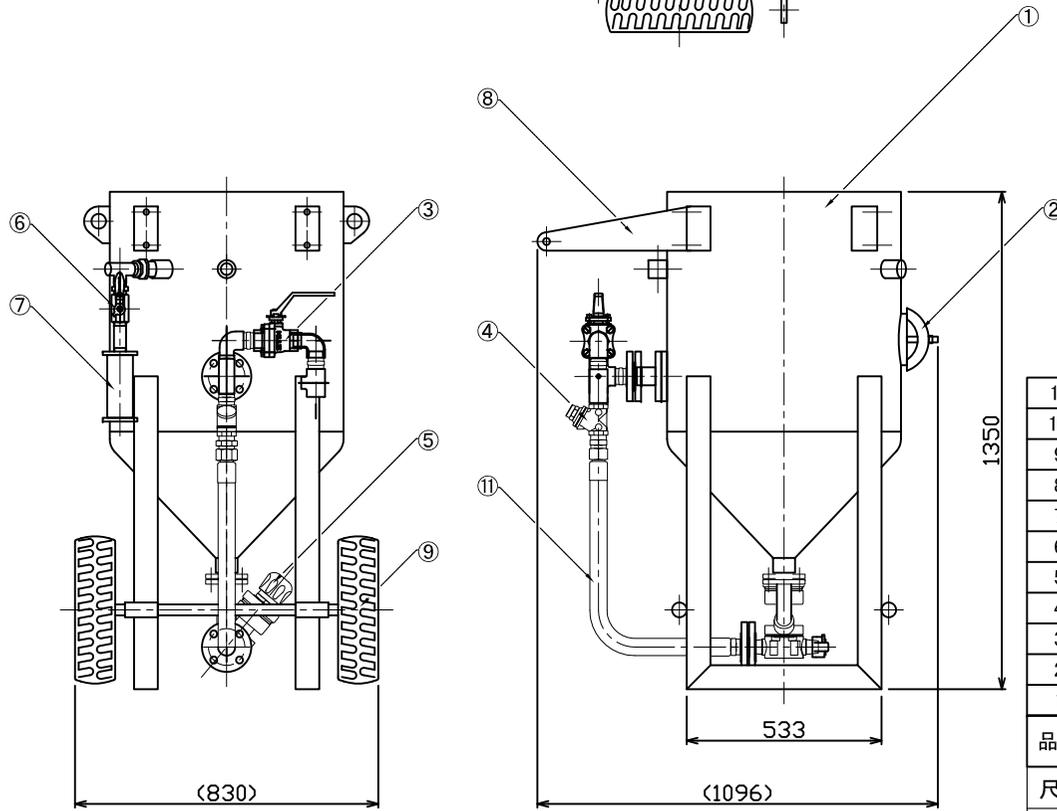
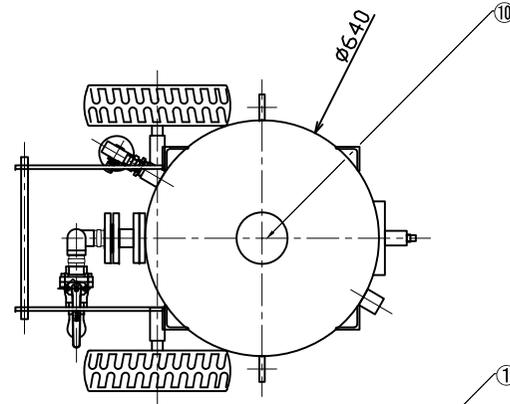
※パイプニップルの取付に注意してください。

ケース	問題	考えられる原因	解決方法一例
1	ブラストタンク内のエア圧力が上がらない	コンプレッサーからエアの供給が無い	コンプレッサーを始動してください。
		エア供給バルブが全閉になっている	エア供給バルブをゆっくり開けてください。
		ポップアップバルブもしくはOリングが痛んでいる	必要に応じ交換してください。
		十分な能力のコンプレッサーからのエアが不足している	エアホースが細すぎるため、太いものに交換してください。
2	ブラストノズルからエアが出ない/研削材が出ない	ブラストノズルが目詰まりを起こしている(閉塞している)	一度ブラスト作業を中止し、コンプレッサーからタンクを外した上でノズルとノズルホルダーをチェックしてください。必要に応じ交換してください。
		エア加減バルブが全閉になっている/閉じている	必要に応じエア加減バルブをゆっくり開けてください。
		ブラストバルブが全閉になっている	ブラストバルブをゆっくり開け、研削材噴出が適切になるまで加減してください。 必ずリモコンスイッチはOFFの状態で行ってください。
		ポップアップバルブもしくはOリングが痛んでいる	必要に応じ交換してください。
		研削材が不足している	一度ブラスト作業を中止し、減圧してポップアップバルブが開いたら研削材を投入してください。
		研削材が多すぎてあふれている	研削材の量を減らしてください。
		湿った研削材を投入した	ブラストタンクから研削材を完全に抜き、タンク内を乾燥させたうえで新しい別の研削材を投入してください。
		リモコンホースからエア漏れがある	リモコンホースを正しく接続してください。もしリモコンホースの破損がありましたら、必要に応じリモコンホースを交換してください。
3	ブラスト作業時、研削材がとぎれとぎれになる(ホースが脈動を起こす)	研削材にゴミ等が混じっている	ブラストタンクから研削材を完全に抜き、新しい別の研削材を投入してください。
		研削材が不足している	一度ブラスト作業を中止し、減圧してポップアップバルブが開いたら研削材を投入してください。
		湿った研削材を投入した	ブラストタンクから研削材を完全に抜き、タンク内を乾燥させたうえで新しい別の研削材を投入してください。
		コンプレッサーからエアの供給が過小	コンプレッサーをチェックしてください。必要に応じ、エア供給を増やしてください。
4	ブラスト作業時の研削材流量過多	エア加減バルブが全閉になっている/閉じている	エア加減バルブをゆっくり開けてください。
		ブラストバルブが全閉になっている	ブラストバルブの流量を調整してください。 必ずリモコンスイッチはOFFの状態で行ってください。
5	ブラストホースの摩耗・損耗	ブラストホースがねじれている/巻かれている/摩耗している	ブラストホースはなるべくまっすぐになるようにしてください。摩耗している場合、交換してください。
		ブラストノズルが摩耗している	ブラストノズルをチェックしてください。必要に応じ、交換してください。
6	リモコン用フィルターの摩耗・損耗	フィルターが汚れている	必要に応じ交換してください。
7	リモコンスイッチが不良	フィルターが汚れている	水分やゴミ塵の混入はリモコンスイッチ不良の原因になります。必要に応じスイッチ、フィルター、ホース等を交換してください。
8	部品から研削材が漏れる	部品が摩耗している	研削材が通過する箇所は消耗します。摩耗・損耗があったら直ちに交換してください。

最高使用圧力 1.00MPa

内容積 0.20m³

労働法2圧検査合格品トスル



11	ジョイントホース	1	
10	研削材投入口	1	
9	車輪	1	
8	取っ手	1	
7	サイレンサー	1	
6	排気バルブ	1	
5	トンプソン型バルブ	1	
4	タンデム型エアバルブ	1	
3	元バルブ	1	
2		1	
1	プラスト機本体	1	

品番	品名	数量	備考
----	----	----	----

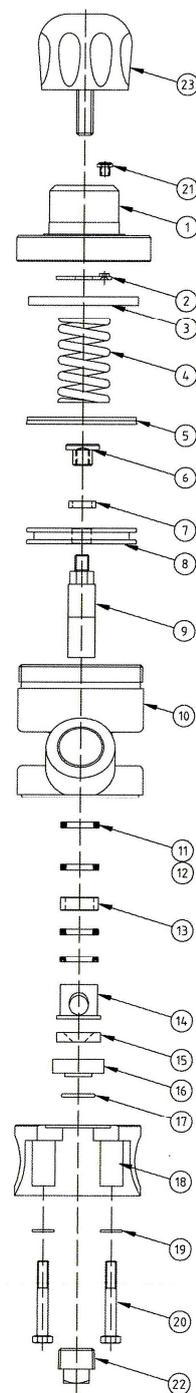
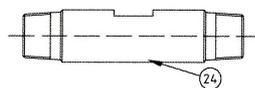
尺度	図名	高圧ブラスト機		納入先
		BP-600		図番 TC-140528-BP600-Z-01
A-4				

日付	検図	設計	製図	写図	厚地鉄工株式会社
2014.05.28		t.kishino			

トンプソン型バルブ

No	品番	名称	重量
	BAC-VA-PB-0089	トンプソン型バルブ	6.2kg

No	品番	名称	数量
1	BAC-VA-PB-0093	トップ	1
2	YAC-VA-PB-0095	アンチバイブレーションワッシャ	1
3	YAC-VA-PB-0094	ストップリング	1
4	YAC-VA-PB-0096	ばね	1
5	YAC-VA-PB-0097	ピストンシール	1
6	YAC-VA-PB-0124	プランジャーカバー	1
7	YAC-VA-PB-0137	ナイロンワッシャ	1
8	YAC-VA-PB-0098	ピストン	1
9	BAC-VA-PB-0099	タングステンプランジャー	1
10	BAC-VA-PB-0100	シリンダー	1
11	YAC-VA-PB-0052	プランジャーシール	4
12	YAC-BS-PB-0032	Oリング	2
13	YAC-VA-PB-0125	ブッシュ	1
14	BAC-VA-PB-0102	タングステンカーバイドスリーブ	1
15	YAC-VA-PB-0103	ウレタンシート	1
16	YAC-VA-PB-0213	シートホルダー	1
17	YAC-BS-PB-0034	Oリング	1
18	YAC-VA-PB-0194	ベース	1
19	YAC-FN-PB-0258	フラットワッシャ	4
20	YAC-FN-PB-0104	六角ボルト	4
21	BAC-AF-PB-0163	排気フィルター	1
22	YAC-PF-PB-0231	四角形プラグ	1
23	BAC-VA-PB-0092	コントロールノブ	1
24	BAC-VA-PB-0090	パイプニップル	1



No	品番	名称
1	BAC-VA-PB-0113	タングステンシールキットセット(5,11,12,13,14,15,16,17)

トンプソン型バルブ

